

令和 2 年 5 月 28 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2015～2019

課題番号：15K03331

研究課題名（和文）中国の国際秩序戦略 国際金融秩序をめぐる攻防

研究課題名（英文）China's Strategy for the International Order: Competition for the International Financial Order

研究代表者

渡辺 紫乃（Watanabe, Shino）

上智大学・総合グローバル学部・教授

研究者番号：10582637

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、中国の2010年代以降の対外援助政策と「一帯一路」構想、アジアインフラ投資銀行や新開発銀行などの新国際金融機関創設の背景と実態について分析した。そして、習近平政権下の中国は、現行の国際秩序を選択的に受容しつつ、国際開発金融分野においては、「一帯一路」構想や新国際開発金融機関の創設を通じて既存の規制や慣行の一部を改革し、新しい秩序形成に積極的になってきたことを解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、中国の二国間援助に比べて研究が手薄であった 多国間援助の実態と政策的変遷、まだ本格的な学術的検討が行われていなかった 中国による新国際開発金融機関創設の背景と運営実態、 国際開発金融分野における中国の国際秩序戦略を分析した。また、国際社会で関心が高まっているが実体が捉えにくい中国の「一帯一路」構想に焦点をあてた研究をすることで、今日の中国の対外政策についての理解を深める一助とした。

研究成果の概要（英文）：This study examined China's foreign aid since the 2010s, the Belt and Road Initiative (BRI), and its policies over establishing and managing Asian Infrastructure Investment Bank and New Development Bank since mid-2010s. The author found that China has selectively accepted the current international order and that China under the Xi Jinping administration has become a "reformer" and "shaper" of new international order in the field of international development finance through changing the existing business norms and practices and imposing new rules on countries which endorse the BRI.

研究分野：政治学、国際関係論

キーワード：国際秩序 中国外交 国際開発金融 対外援助 対外政策

1. 研究開始当初の背景

中国は建国翌年の1950年に対外援助を提供し始めた伝統的な援助国であるが、国際開発援助コミュニティの中核をなす経済協力開発機構(Organization for Economic Co-operation and Development: OECD)の開発援助委員会(Development Assistance Committee: DAC)に未加盟である。DACが定義する政府開発援助(Official Development Assistance: ODA)の概念に従わずに独自の対外援助を積極的に展開しているが、情報開示は進んでいない。

近年、中国の対外援助に関する研究が盛んになりつつあるが、実態解明が主目的の研究が中心であること、中国の二国間援助が主な分析対象であり、多国間援助に関する研究は不十分であること、中国の国際秩序戦略における対外援助の位置づけや理論的検討が進んでいないことなどの限界がある。そこで、本研究では、中国の多国間援助の政策的変遷や動向、世界銀行やIMF、中国が主導して設立したアジアインフラ投資銀行(AIIB)などの国際開発金融機関との関係を踏まえ、今日の中国の国際金融分野での行動を多面的に分析することで、中国の対外援助の理解増進をはかった。

今日、中国の台頭や対外戦略をめぐるのは、米国との対立が不可避である(Mearsheimer, 2001)、現行の国際秩序の中での台頭である(Schweller & Pu, 2011)、中国は「未完の大国」であって国際秩序の書き換えはできない(Shambaugh, 2013)など、多様な議論が展開されている。しかし、中国の国際秩序戦略はもはや一枚岩ではない(Johnston, 2019)、中国が大国化する過程で外交も多元化しているため、分野別の分析が欠かせない。そこで、本研究は、対外援助や国際開発金融をケースに中国の対外行動・戦略を分析し、中国の国際金融秩序戦略を解明することで、中国の国際秩序戦略の分野別研究に貢献することを意図した。

2. 研究の目的

本研究は、中国によるAIIBと新開発銀行(New Development Bank: NDB)の創設や国際金融秩序再編へ向けた取り組みに焦点をあて、台頭過程にある中国の国際秩序戦略を実証的・理論的に分析した。特に、中国のこれまでの二国間・多国間援助政策の変遷と具体的な展開、中国の国際開発金融機関創設の背景と実態及び既存の国際金融秩序への影響を明らかにすることを目指した。

3. 研究の方法

主として、(1)日本語・英語・中国語文献の収集と調査、(2)国内外での研究者・専門家との意見交換と政策担当者などへの聞き取り調査、(3)研究会や学会、国際会議、論文などでの研究成果の発表とフィードバックの取得によって研究を進めた。

(1) 文献調査

大学図書館や国会図書館での文献調査に加え、各種英文データベースや中国学術文献オンラインサービス(CNKI)、Global Trade Atlas、世界銀行やアジア開発銀行、AIIB、NDB、国連などの国際機関や国内外のシンクタンクのサイトなどを活用して、幅広く資料やデータ収集を行った。

(2) 聞き取り調査と意見交換

日本の大学やシンクタンクなどの研究者・専門家、実務家を対象に聞き取り調査や意見交換を行った。また、中国、台湾、米国、カンボジアで現地調査を行い、大学やシンクタンクなどの研究者・専門家、政府関係者や国際機関職員などを対象に聞き取り調査や意見交換を行った。

(3) 研究成果の発表

国内外での研究会や学会、会議などで研究報告を行った。また、国内の学会誌や国外のジャーナルなどに研究成果を論文として発表した。

4. 研究成果

(1) 「一帯一路」構想の背景

中国では胡錦濤政権期に「西方」重視の発想はあったが、実際の政策として実現しなかった。その後、習近平政権期になって「一帯一路」構想が打ち出された背景としては、中国の周辺国との関係や「西方」を重視する政権であること、国外での需要創出や内陸部の開発に重点を置くことによって、高度経済成長の持続と深刻な地域格差の是正を目指したこと、米国の相対的な地位の低下とリバランス政策への回帰、クリミア併合以後の経済制裁に苦しむロシアの低迷、インドやブラジルなどの新興国の台頭と発言力の強化といった中国に有利な国際環境が出現し

たことであった。

(2) 「一帯一路」構想と AIIB 設立構想の変容

開発途上国は当初、「一帯一路」構想を中国による大型援助計画とみなしていた。しかし、実際には、中国国外に生産設備を輸出する「国際生産能力協力（国際産能合作）」という国際協力の新しい枠組みが強調され、対外援助よりも投融資に重点が置かれる構想になった。

また、中国は AIIB の設立準備段階では「一帯一路」構想を資金面で支える多国間開発金融機関とすることを想定していた。しかし、AIIB への加盟が国際政治問題化したうえ、英国をはじめとする西欧諸国が加盟意思を表明したことで、グローバルな国際開発金融機関の誕生となった。

以上のように、中国は当初から「一帯一路」構想の運営や AIIB の位置づけを柔軟に変化させてきており、この姿勢は現在（2020年5月）まで続いている。

(3) 中国の習近平政権の国際開発金融分野での秩序戦略

中国の国際秩序に対する姿勢は、単純に現状維持や修正主義として割り切ることができない。今日の国際秩序はもはや単一のものとはいえない。中国の国際秩序に対する姿勢も領域別に異なると考えるのが妥当であり、領域別の分析を積み上げることで、より正確な理解が可能になる。

習近平政権下の中国は、既存の秩序を選択的に受容しつつ、国際開発金融分野においては「改革者」や「建設者」として新しい秩序形成に関与するようになった。その背景としては、習近平政権の対外積極姿勢に加え、中国が改革開放政策以来の長年の高度経済成長によって独自の開発モデルに自信を強めたことがある。同時に、近年では西欧諸国のドナー中心に構成されている OECD の DAC による「援助モデル」が揺らいでおり、国際開発援助コミュニティの対外援助観が多様化している。中国独自の対外援助政策が受け入れられやすい環境になってきことも重要な要因である。

(4) 「一帯一路」の光と影

中国の「一帯一路」構想のもとで展開されている国際協力は、経済活動であると同時に、戦略インフラの建設支援を通じて、進出先に対する中国の影響力の拡大や中国の安全保障の強化につながっている。他方で、中国の対外進出は、必ずしも当該国との関係強化に直結していない。むしろ、中国が当該国との経済関係を強化すればするほど、当該国の中国への非対称的依存が深まることで、かえって反中感情や対中懸念が強まり、対中認識が悪化するというジレンマが生じている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 62
2. 論文標題 「習近平政権の中国と国際秩序 「参加者」から「改革者」、「建設者」へ」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『防衛学研究』	6. 最初と最後の頁 59-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 629
2. 論文標題 「アジアインフラ投資銀行の創設と国際開発金融秩序」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東亜』	6. 最初と最後の頁 92-100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 47-1
2. 論文標題 「「一帯一路」構想の変遷と実態」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『国際安全保障』	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shino Watanabe	4. 巻 n/a
2. 論文標題 "China's Infrastructure Development in the Indo-Pacific Region: Challenges and Opportunities"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019 Working Paper, Stratetic Japan, Center for Strategic and International Studies (CSIS).	6. 最初と最後の頁 n/a
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 97
2. 論文標題 「中国の対外援助の拡大と国際開発援助の限界」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『東洋文化』	6. 最初と最後の頁 11-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 18
2. 論文標題 「中国のシルクロード経済圏構想 (東洋文化講座「シリーズ・激動するアジアの経済・社会」講演録)」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『東洋文化研究』	6. 最初と最後の頁 345-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺紫乃	4. 巻 661
2. 論文標題 「中国の国際援助戦略」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『改革者』	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計46件 (うち招待講演 10件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "Japan-China Relations, Free and Open Indo-Pacific, Chinese Presence in Africa"
3. 学会等名 Public Lecture, The National Defense Institute, Lisbon, Portugal.
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Japan-China Relations, Free and Open Indo-Pacific, Chinese Presence in Africa ”
3 . 学会等名 Conference, Military Academy Research Center, Military Academy, Lisbon, Portugal.
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Japan-China Relations and Free and Open Indo-Pacific ”
3 . 学会等名 Conference, Press Room of Montecitorio Palace, Chamber of Deputies, Rome, Italy.
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Japan-China Relations and Free and Open Indo-Pacific ”
3 . 学会等名 Public Lecture, Italian Institute for International Political Studies, Milano, Italy.
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Japan-China Relations and Free and Open Indo-Pacific ”
3 . 学会等名 Public Lecture, Pavia University, Pavia, Italy.
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Belt and Road Initiative (BRI) and Free and Open Indo-Pacific (FOIP) ”
3 . 学会等名 International Symposium: Peace and Stability in the Indo-Pacific Region, Research Centre for Eastern and North Eastern Regional Studies (CENERS-K), Kolkata, India. (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ China 's Infrastructure Development and Finance ”
3 . 学会等名 Seminar, Institute for Northeast Asian Studies, Vietnam Academy of Social Sciences, Hanoi, Vietnam.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ China 's Maritime Infrastructure Development ”
3 . 学会等名 International Symposium: New World Order and Indo-Pacific Initiative, The Japan Forum on International Relations, Tokyo, Japan. (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ New Challenges in the Indo-Pacific Regional Order ”
3 . 学会等名 The 4th International Symposium on China-Japan-ROK Security Cooperation, Changsha, China. (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Sino-Japanese Relations and the Indo-Pacific Vision ”
3 . 学会等名 Working Lunch, Stiftung Wissenschaft Politik (SWP), Berlin, Germany.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Chinese Concept and Funding for Infrastructure in Southeast Asia ”
3 . 学会等名 Public Lecture, Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin, Berlin, Germany.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Sino-Japanese Relations and the Indo-Pacific Vision ”
3 . 学会等名 Symposium, Consejo Argentino Para Las Relaciones Internacionales (CARI), Buenos Aires, Argentina.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Sino-Japanese Relations and the Indo-Pacific Vision ”
3 . 学会等名 Symposium, San Martin University, Buenos Aires, Argentina.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ China ’ s Infrastructure Development in the Indo-Pacific Region: Challenges and Opportunities ”
3 . 学会等名 Luncheon Seminar, Sasakawa USA, Washington, D.C., The U.S.A.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Sino-Japanese Relations and the Indo Pacific ”
3 . 学会等名 Seminar, Institute for Northeast Asian Studies, Vietnam Academy of Social Sciences, Hanoi, Vietnam.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Sino-Japanese Relations and the Indo Pacific ”
3 . 学会等名 Roundtable, Diplomatic Academy of Vietnam, Hanoi, Vietnam.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Challenges for the Regional Order in the Indo-Pacific ”
3 . 学会等名 Australia-Indo-Japan Trilateral 2019: Leadership, Partnership and ASEAN Centrality in the Emerging Indo-Pacific, Brisbane, Australia. (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's Growing Role in the Global Trade and Its Implications for the Maritime Order"
3. 学会等名 The Japan-Indo-Pacific Dialogue, The Japan Forum on International Relations, Tokyo, Japan.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "Free and Open Indo-Pacific: Major Challenges and Opportunities"
3. 学会等名 Seminar at the Foundation for Strategic Research, Paris, France. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's Infrastructure Development in the Indo-Pacific Region: Challenges and Opportunities"
3. 学会等名 Roundtable, Strategic Japan Year Six, The Free and Open Indo Pacific Vision, Center for Strategic and International Studies (CSIS), Washington, DC., The U.S.A. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's Strategy for International Financial Order: Changing Role of Asian Infrastructure Investment Bank (AIIB)"
3. 学会等名 60th Annual Convention, International Studies Association, Toronto, Canada. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "East China Sea and Sino-Japanese Relations"
3. 学会等名 Workshop on Asia-Pacific Maritime Security: Perspective for the United States, Japan, and Taiwan, Institute of European and American Studies, Academia Sinica, Taipei, Taiwan. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's 'One Belt One Road' Initiative and Its Major Implications"
3. 学会等名 Jeju Forum 2018 for Peace & Prosperity, Jeju, South Korea. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's Belt and Road Initiative and Its Implications for the Indo-Pacific Region"
3. 学会等名 Australia-Japan Dialogue, National Defense Academy, Yokosuka, Japan. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「習近平政権期の中国の資源外交 - エネルギー事情と中国国有石油会社の動向」
3. 学会等名 JIIA公開シンポジウム「中国の対外政策と諸外国の対中政策」、東京。
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Xi, the Indo-Pacific, and Japan-China Relations ”
3 . 学会等名 College of William and Mary Reves Center for International Studies Seminar “ Indo-Pacific Security Dynamics in the Age of Trump, Xi, and Abe, ” Williamsburg, The U.S.A.
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Xi, the Indo-Pacific, and Japan-China Relations ”
3 . 学会等名 University of Virginia National Security Center Lecture “ Indo-Pacific Security Dynamics in the Age of Trump, Xi, and Abe, ” Charlottesville, The U.S.A.
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Xi, the Indo-Pacific, and Japan-China Relations ”
3 . 学会等名 The University of Sheffield School of East Asian Studies Event “ Indo-Pacific Security Dynamics in the Age of Trump, Xi, and Abe, ” Sheffield, The U.K.
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 “ Xi, the Indo-Pacific, and Japan-China Relations ”
3 . 学会等名 University of Warwick East Asia Study Group Event “ Indo-Pacific Security Dynamics in the Age of Trump, Xi, and Abe, ” Coventry, The U.K.
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's "One Belt One Road" and Its Impacts on the International Order"
3. 学会等名 Panel Discussion "The U.S.-Japan Relationship in the New Era," Freeman Spogli Institute for International Studies, Stanford University, Stanford, The U.S.A.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's "One Belt One Road" and Its Impacts on the International Order"
3. 学会等名 Roundtable Discussion, Kenneth B. and Anne H.H. Pyle Center for Northeast Asia Studies, The National Bureau of Asian Research, Seattle, The U.S.A.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 " China and South China Sea "
3. 学会等名 The Japan Forum on International Relations Workshop on Maritime Security, Bangkok, Thailand.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「日中関係と今後の展望」
3. 学会等名 日本国際フォーラム国際セミナー「アジアの海洋秩序をめぐる日中関係のあり方」、東京。
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「中国の海外利益と南シナ海」
3. 学会等名 日本国際フォーラム国際シンポジウム「海洋安全保障のグローバル化に向けて - 領有権非当事国による南シナ海討議」、東京。
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's New Security of Its Overseas Interests"
3. 学会等名 Asia Economic Community Forum, Incheon, South Korea.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's 'ODA' Policy"
3. 学会等名 The 4th China Talk "China's Domestic and Foreign Policies" Konrad Adenauer Stiftung in Vietnam and Diplomatic Academy of Vietnam, Hanoi, Vietnam. (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's 'One Belt One Road' Initiative and the U.S.-China Relations"
3. 学会等名 The 4th China Talk "China's Domestic and Foreign Policies" Konrad Adenauer Stiftung in Vietnam and Diplomatic Academy of Vietnam, Hanoi, Vietnam. (招待講演)
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 "China's Challenge to the International Order: Its Initiative for Building New Silk Road Economic Belt and Asian Infrastructure Investment Bank"
3 . 学会等名 2016 Annual Convention, International Studies Association, Atlanta, The U.S.A. (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 "China's " One Belt One Road " Initiative and the International Order"
3 . 学会等名 JIIA-CSIS (Center for Strategic and International Studies) Dialogue, Washington, D.C., The U.S.A.
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 "China's " One Belt One Road " Initiative and Its Implications for the International System"
3 . 学会等名 Symposium ("International Security and Political Economy in East Asia: Perspectives from Japanese Experts"), School of East Asian Studies, Sheffield University, Sheffield, The U.K.
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Shino Watanabe
2 . 発表標題 "China's " One Belt One Road " Initiative and Its Implications for the International System"
3 . 学会等名 Symposium ("Japanese Perspectives on Asian Diplomacy"), The University of Edinburgh, Edinburgh, The U.K.
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Shino Watanabe
2. 発表標題 "China's " One Belt One Road " Initiative and Its Implications for the International System"
3. 学会等名 Seminar (Japanese Perspectives on Asian Geopolitics), The Institute of International and European Affairs (IIEA), Dublin, Ireland.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「『一帯一路』構想と 国際秩序への影響」
3. 学会等名 日中シンポジウム「現代のシルクロード構想と中国の発展戦略」、科学技術振興機構中国総合研究交流センター、東京。
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「中国のシルクロード経済圏構想」
3. 学会等名 学習院大学東洋文化講座「シリーズ・激動するアジアの経済・社会」、東京。（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「中国のエネルギー政策について 国有石油会社と対外政策 」
3. 学会等名 国際情勢研究所「中国研究会」、東京。
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 渡辺紫乃
2. 発表標題 「中国の石油産業と三大国有石油会社」
3. 学会等名 日本国際問題研究所「中国研究会」、東京。
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 日本国際問題研究所編、高原明生、小嶋華津子、西本紫乃、角崎信也、李昊、渡辺紫乃他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 公益財団法人日本国際問題研究所	5. 総ページ数 -
3. 書名 「中国のインフラ・ファイナンス－国家開発銀行、中国輸出入銀行、アジアインフラ投資銀行と新開発銀行の融資実績比較－」『中国の対外政策と諸外国の対中政策』	

1. 著者名 日本国際フォーラム編、伊藤剛、佐藤考一、山田吉彦、都留康子、畠山京子、渡辺紫乃	4. 発行年 2020年
2. 出版社 公益財団法人日本国際フォーラム	5. 総ページ数 -
3. 書名 「中国の海洋インフラ投資－中国企業による海外港湾会社への投資動向－」『「新段階の日本の海洋戦略－開かれ安定した海洋に向けて－」研究会最終報告書』	

1. 著者名 落合雄彦編著、神宮司覚、古澤嘉朗、佐藤千鶴子、武内進一、遠藤貢、岩田拓夫、渡邊祥子、杉木明子、白戸圭一、小林周、保坂修司、久保田徳仁、加茂省三、渡辺紫乃、ファン・ギョドゥク、山口正大、篠田英朗、セドリック・ドゥ・コニング、ダニエル・バック、佐藤裕太郎、峯陽一、坂梨健太、西川芳昭、佐藤史郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 315 (158-172)
3. 書名 「中国とアフリカ」『アフリカ安全保障』	

1. 著者名 日本国際問題研究所編、李昊、西本紫乃、小嶋華津子、渡辺紫乃、角崎信也、高原明生、梅本哲也、倉田秀也、兵頭慎治、伏田寛範、伊藤裕子、庄司智孝、伊藤融、福嶋輝彦、林大輔、佐藤俊輔	4. 発行年 2019年
2. 出版社 公益財団法人日本国際問題研究所	5. 総ページ数 196 (35-47)
3. 書名 「新国際開発金融機関と中国のエネルギー投資」 『中国の対外政策と諸外国の対中政策』	

1. 著者名 伊藤剛、佐藤考一、都留康子、畠山京子、山田吉彦、渡辺紫乃	4. 発行年 2019年
2. 出版社 公益財団法人日本国際フォーラム	5. 総ページ数 -
3. 書名 「中国の海洋進出 海運と船舶金融における台頭」 『「新段階の日本海洋戦略 開かれ安定した海洋に向けて」研究会報告書』	

1. 著者名 高原明生、山口信治、林載桓、角崎信也、渡辺紫乃、伊藤亜聖、小嶋華津子、西本紫乃	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益財団法人日本国際問題研究所	5. 総ページ数 187 (47-67)
3. 書名 「中国の習近平政権下の国有企業改革の動向」公益財団法人日本国際問題研究所編 『中国の対外政策と諸外国の対中政策』	

1. 著者名 伊藤剛、渡辺紫乃、都留康子、佐藤考一、山田吉彦、畠山京子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益財団法人日本国際フォーラム	5. 総ページ数 112 (9-12)
3. 書名 「中国の海洋戦略 海洋権益と海洋強国」公益財団法人日本国際フォーラム編 『「新段階の日本海洋戦略 - 開かれ安定した海洋に向けて -」研究会 報告書』	

1. 著者名 公益財団法人日本国際問題研究所編、高木誠一郎、角崎信也、佐々木智弘、高原明生、江藤名保子、大橋英夫、渡辺紫乃、山口信治、鈴木隆、弓野正宏、深串徹	4. 発行年 2017年
2. 出版社 公益財団法人日本国際問題研究所	5. 総ページ数 206 (63-83)
3. 書名 「習近平政権下の中国共産党・中国政府と三大国有石油会社」『平成28年度外務省外交・安全保障調査研究事業 国際秩序動揺期における米中の動勢と米中関係 中国の国内情勢と対外政策』	

1. 著者名 国立研究開発法人科学技術振興機構中国総合研究交流センター編、河合正弘、黄益平、張可雲、周強武、張礼卿、楊曉竜、李曉、李俊久、渡辺紫乃、李瑞雪、楊中平、黄先進、大西康雄、李志東 他	4. 発行年 2016年
2. 出版社 国立研究開発法人科学技術振興機構中国総合研究交流センター	5. 総ページ数 273 (82-93)
3. 書名 「現代版シルクロード「一帯一路」構想とその展望」『中国「一帯一路」構想および交通インフラ計画について』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----